やさいレポート（令和８年 11 月号）



レタス



発行日：令和８年 11 月 10 日

１．卸売価格の動向

○261 円/kg（11 月 7 日）

- 平年比：125%

○11 月の価格見通し

前半は平年を上回って、後半はやや平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

２．小売価格の動向

○1,134 円/kg

（10 月 9 日全国平均）

- 前月比：220%、平年比：211%
- 東京：388 円（1 玉）
- 大阪：386 円（1 玉）

○特売店舗数／調査店舗数

- 東京：1/20（前月 2/20）
- 大阪：0/10（前月 2/10）

（機構調べ）

３．家計消費動向

○141g/人（9 月全国平均）

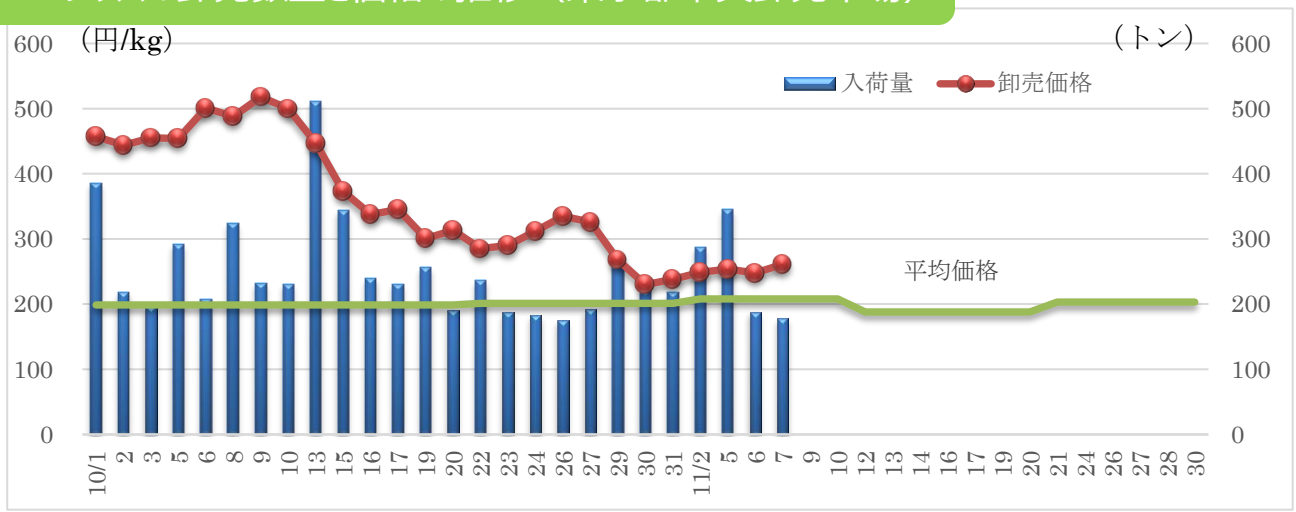
- 前月比：69%
- 前年同月比：83%

○2,030g/人（2025 年年間）

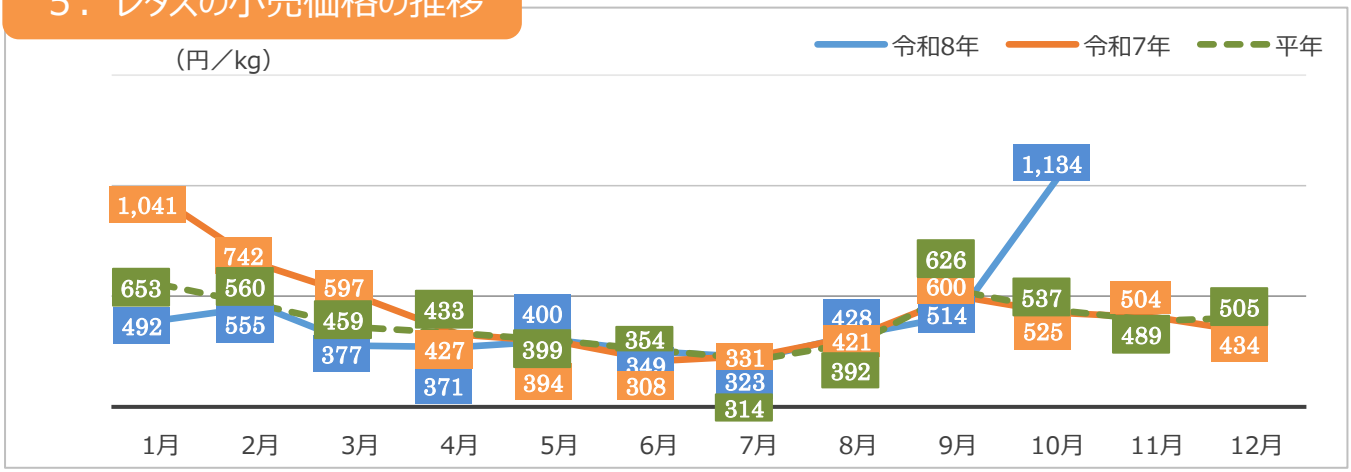
- 前年比：107%

（総務省統計局家計調査）

４．レタスの卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



５．レタスの小売価格の推移



6．主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
岩手県奥中山（8/18）	減少	やや不良	平年並み	平年並み
茨城県西（10/13）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
群馬県あがつま（7/23）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
長野県南佐久（9/18）	減少	不良	遅い	平年並み
静岡県周智（9/29）	減少	平年並み	遅い	－
兵庫県淡路島（10/13）	減少	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域（10/8）	減少	平年並み	早い	遅い
香川県豊南（10/28）	減少	平年並み	遅い	遅い
福岡県JAみい（10/27）	前年並み	平年並み～やや不良	遅い	遅い
長崎県島原雲仙（10/30）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。　（機構調べ）



茨城県西：圃場の様子

7．向こう１ヶ月の気象情報（11/7～12/4）

	週別の天候
11/7～11/13	北日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
11/14～11/20	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
11/21～12/4	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

		平均気温（１か月）	降水量（１か月）	日照時間（１か月）
北日本	日本海側	低30 並50 高20% 平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み

（気象庁１カ月予報）

8．輸入動向（生鮮結球レタス）

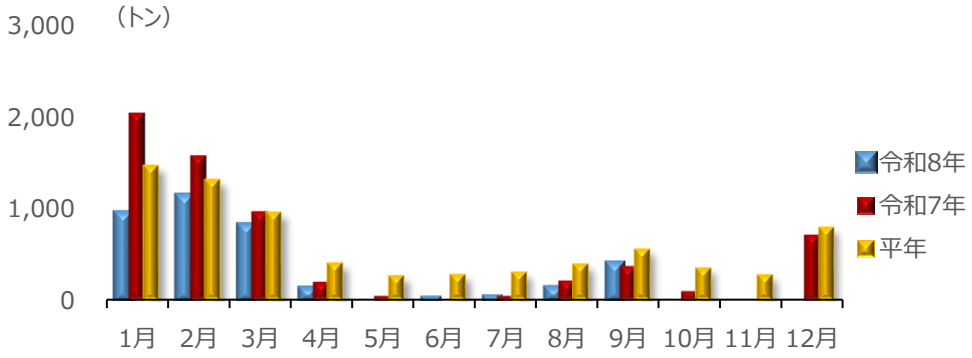
○ 385トン（9月輸入量）

➢ 前年同月比： 110%

○輸入先国ベスト３

1位	中国	239トン
2位	米国	90トン
3位	韓国	56トン

（財務省貿易統計）



9．一口メモ

10月は、長野県・茨城県・群馬県産主体の入荷となった。主産地の長野県産が９月の長雨・低温で生育遅延や作業遅れ及び一部で病害の発生から小玉傾向となったが、気温の低下でサラダ需要もなく、中旬から価格は下げ基調となったものの、月を通して入荷量は平年を２割以上下回り、価格は約９割上回った。

11月は、長野県産の出荷が減少し、茨城県産中心の出荷に切り替わる。主産地では９月の長雨、日照不足により小玉傾向が見られるが、10月は概ね好天であったため、中下旬頃から長雨以降に定植したものが出荷される。前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回り、後半は出荷数量は平年をやや下回り、価格は平年をやや上回る見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。
ベジ探：https://vegetan.alic.go.jp/

農畜産業振興機構
野菜業務部　管理業務課